

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		ご利用者の下剤を使用しての排便が多いため、ご利用様に、自然排便の出来るようする。	H25年4月までに1名のご利用者様が、下剤等の薬を使わずに自然排便コントロールが出来た為、今後、1名以上のご利用者様を実施いたします。自然排便1名以上(排便チェック)	ご利用者の水分補給こまめに実施し計測をする。リハビリは、時間を決め毎日実施する。	3ヶ月
2		リハビリのデータ化を行っていなかった為、ご利用者様一人ひとりのADL状況に合わせたリハビリ時間をとり実施します。	リハビリのデータ作成(個別)	個々に合わせたリハビリをし、上肢、下肢の可動域を広げる。歩行できるよう外出行事や散歩定期的に行う	6ヶ月
3		現在も行っていますが、地域に密着する為今後も地域交流の機会を増やしていきます。	地域交流増やす。	近所の方々、地域の方々に、行事等の声かけをし参加していただく。	5ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。